

~愛しているから守りたい~

VOL.5



沖縄に迫りくる
中国の脅威

ゆんたく シーサー

何のために？
謎の「龍柱」の
建設計画
「中国属国」の
シンボルか!?

Comic

しーちゃん&マヤの
「中国がすすめる
沖縄独立工作」



何のために？

謎の「龍柱」の 建設計画

「中国属国のシンボルか!?!」



那覇市が海の玄関口若狭に、中国のシンボルである巨大な龍柱の建設を計画しています。計画について事前の説明はなく、まさに那覇市民にとっては「寝耳に水」。龍柱本体は中国に発注し、建設には2億5,000万円の一括交付金、つまり国民の血税が充てられる予定で、市民からの反発が強まっています。

翁長雄志那覇市長は、この龍柱計画が発表される数カ月前、2012年11月の市長選で4期目の続投を決め、奇しくもその4日後には、福建省省長時代から親交のある習近平氏が、中国共産党総書記に就任しています。

この龍柱、翁長市長から習近平氏への「就任祝い」と勘ぐられても不思議はあ

りません。

この中国の龍は指（爪）が5本であるのに対し、沖縄や本土の龍はいずれも3、4本。これには「中国の属国」という意味があり、もともとは元の皇帝が「5本爪を使用するのは中国皇帝のみ」と定めたことに由来しています。

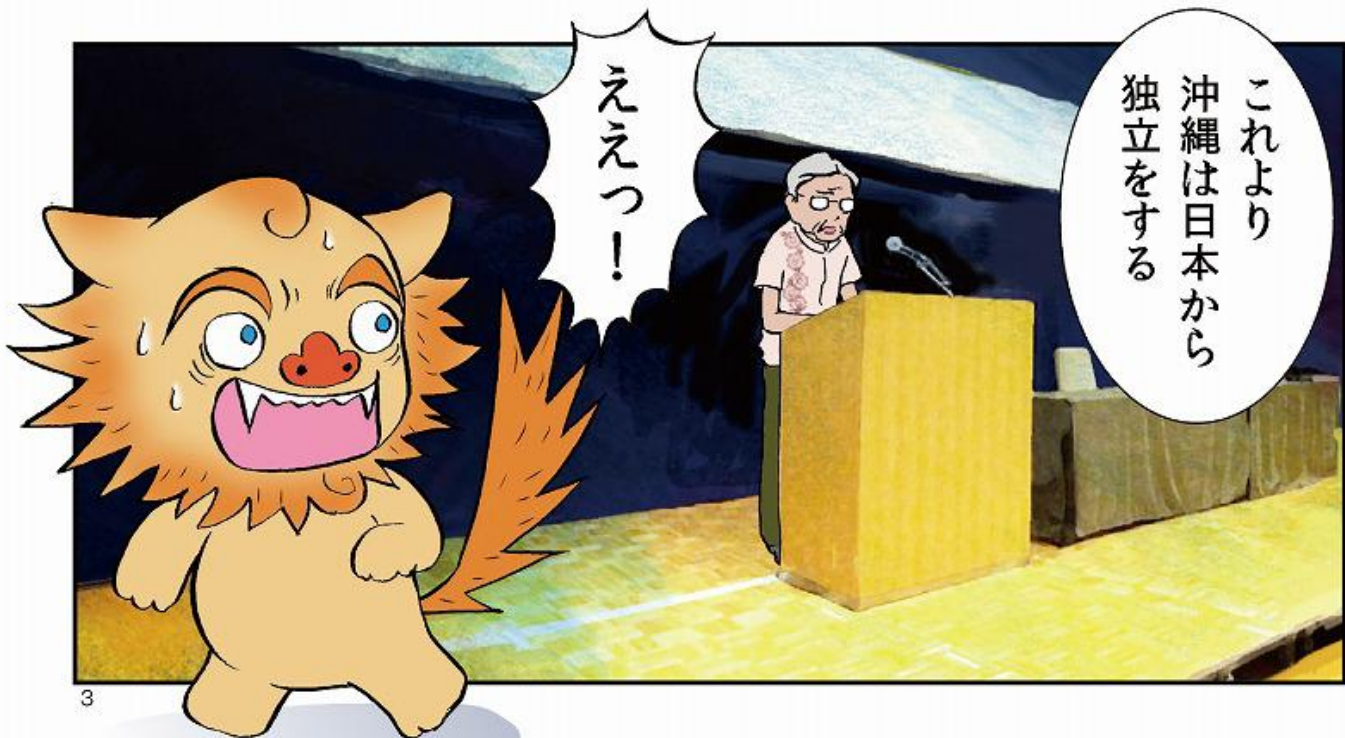
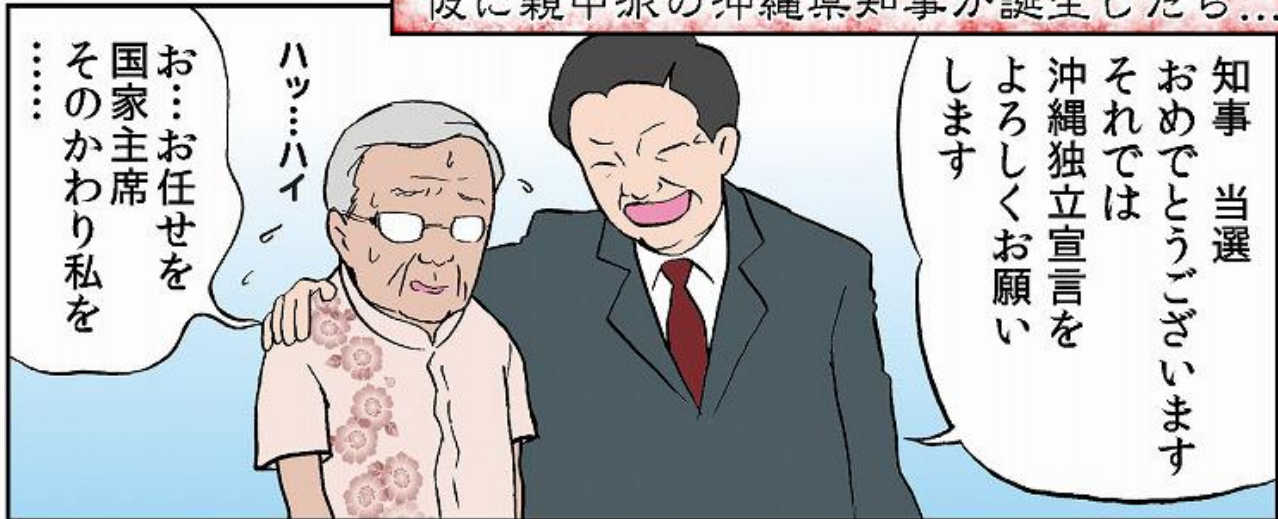
中国は現在、南シナ海を「中国の海」にしようと、フィリピンやベトナムの領土領海に軍事侵攻を開始しています。さらに昨年からは「沖縄は中国の領土」と公言しています。今回の龍柱建設計画に関し、県民からは「なぜこのような時に、翁長市長は、税金を使って、中国の属国の象徴を建設するのか」と、疑問視する声が上がっています……。



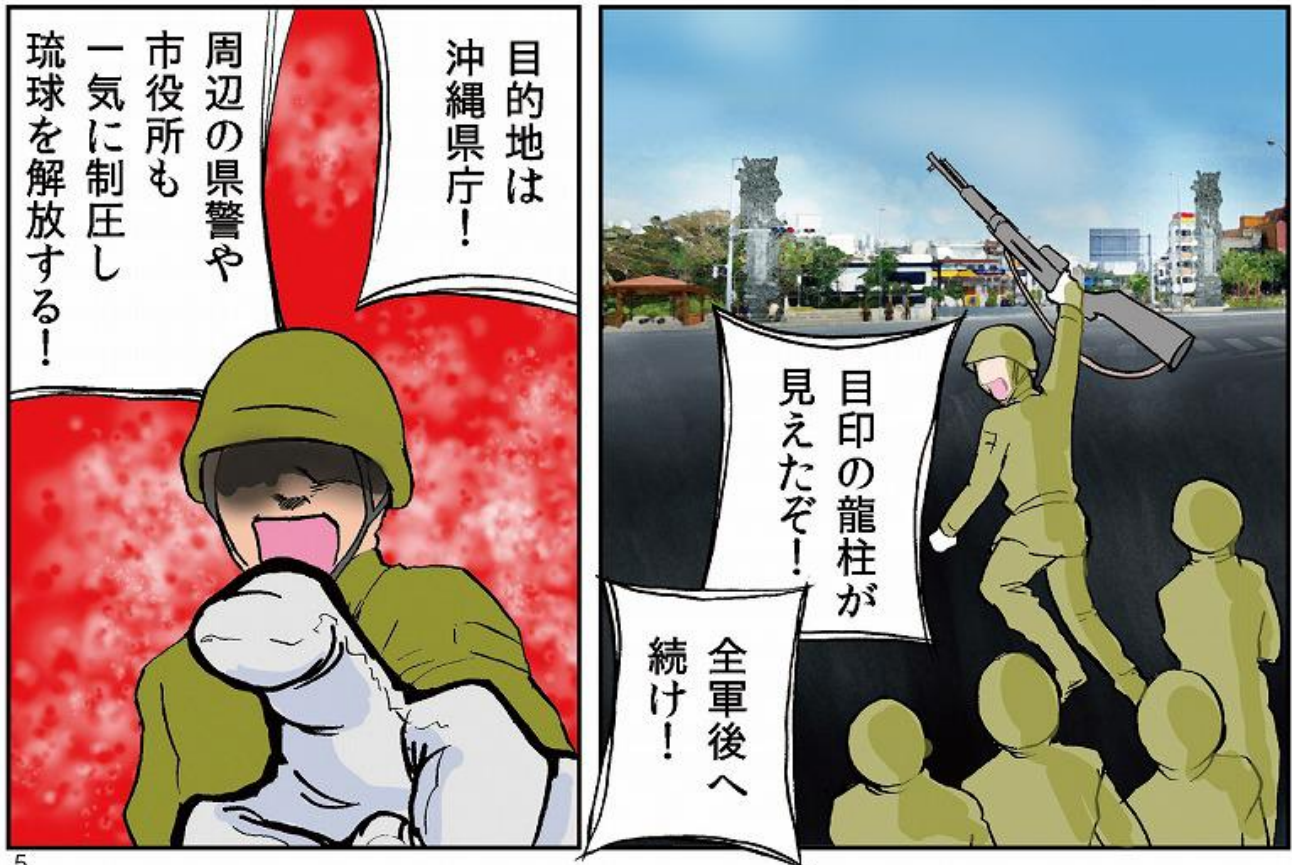
その答えは左ページコミックで!

20XX年

仮に親中派の沖縄県知事が誕生したら...

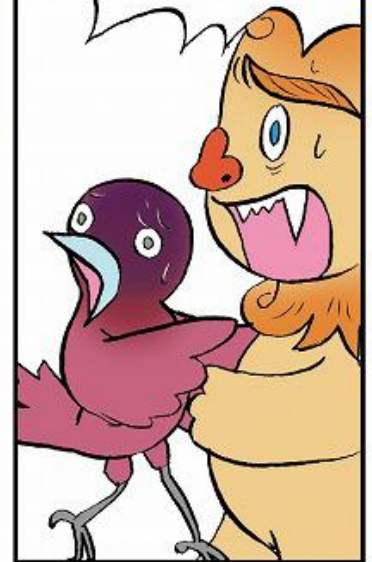








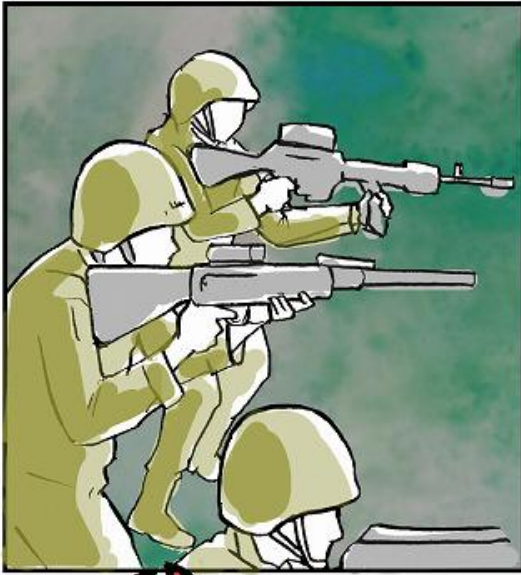
やっぱり
あの柱は
侵略の目印
だったんだ



中国の属国の象徴
龍柱を通して

県庁に
向かってゆーよー！





中国語でも
書いてある
間違いない



知事室
Office of the Governor
지사실

急げ
知事室は
こっちだ



知事！
大人しく
我々の言うことを
聞いてもらおう！

そんな…

私を琉球共和国の
大統領にして
くれる約束じゃ
なかったのか！

中国はずっと「尖閣諸島や沖縄は古来から中国の領土だ」って主張したり琉球独立運動を裏で支援してきた……

でも中国ベツタリの知事や市長ばかりで誰も反論や抗議をしてこなかったからこんなことに！

うわっ
見て
マヤ
ちゃん！

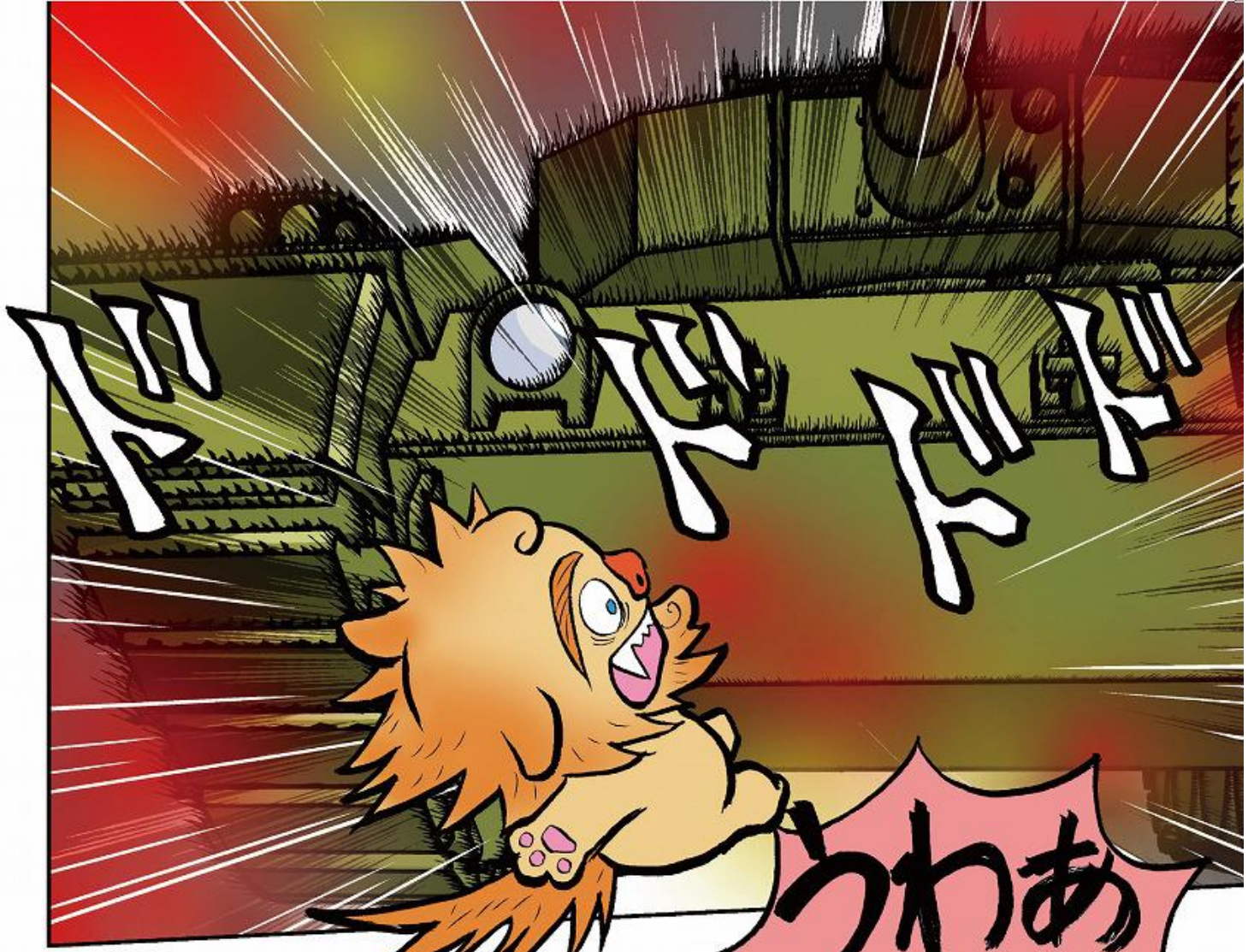
隠れていた民兵たちがテレビ局や新聞社を制圧しちゃったよ！

沖縄県民が中国軍を歓迎しているって嘘の報道をさせてるわ

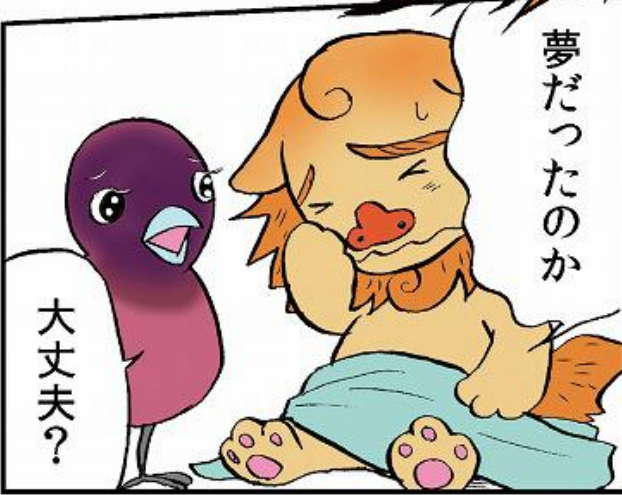


沖縄は日本だ！
独立なんかしないぞ！





うわあ
ああああ
ああああ!



大丈夫?

夢だったのか



どうしたの
しーちゃん!



中国の侵略から
沖縄を守る
ためには

沖縄県民
一人ひとりが
立ち上がり
なければ
心に誓う夢だよ

沖縄に迫りくる！ 中国の脅威

2013.5.3 人民日報

これらは、すべて習近平氏が
中国共産党のトップに就いてからの出来事です



習近平国家主席

「尖閣諸島は中国の核心的利益
(=絶対に譲れない領土)」と発言

中国共産党機関誌「人民日報」
沖縄の領有を示唆！



2013年11月
尖閣を含む空域への
「防空識別圏」設定

2014年5・6月
中国軍戦闘機が
自衛隊機に異常接近！

南沙諸島では中国公船が
ベトナム船に体当たり！

尖閣・沖縄を舞台に

戦争準備に入った中国

ダボス会議(2014年1月)での中国側の発言より

会場からの質問

「多くの中国人は尖閣諸島への侵
攻で軍事的な優位を地域に見せつ
け、シンボリックな島を確保するこ
とができると信じている」



世界戦争を起こす可能性
を認識しているのか？

「日米の軍事的な対処で事態が大
きな戦争につながっても、さほど
ひどいこととは思わない」

理解している



◆中国が「沖縄独立」を支援する理由

なぜ中国は、「沖縄独立」を支援するのでしょうか？ 答えは簡単です。**アメリカと戦争をせずに沖縄の米軍基地を撤退させるためには、「沖縄の独立」が近道だから**です。

いま、**中国は、「ロシアによるクリミア侵攻」をヒントに、沖縄の実効支配のシナリオを練っている**と言われていています。プーチン大統領は、ロシア系住民の保護を理由にウクライナにロシア軍を派遣し、クリミアをあっという間に実効支配しました。

沖縄には「久米三十六姓」に代表されるような、中国渡来人の末裔の方々が暮らしています。**いったん沖縄を独立させ、米軍や自衛隊を撤退させて沖縄を丸腰にさせてか**

ら、「中国系住民を保護するため」という名目で、沖縄に人民解放軍を進駐させる——これが中国が描いているシナリオです。

明や清の時代には、たしかに沖縄は中国との交流が盛んだったため、中国に親しみを感じる県民も多いかもしれません。しかし、現在の中国ではナチスのホロコースト以上の虐殺や人権弾圧が行われており、亡命する人民が後を絶ちません。

2012年の沖縄統計センターの調査によると、99%以上の沖縄県民は独立に反対しています。沖縄県民はこれからも中国のような国に吸収されることを、断固として拒絶し、「琉球独立」についてはっきりと「NO!」の意思を示さねばなりません。そうしなければ、とんでもない未来が待っているのです。

◆中国がしかける「情報戦争」

これは2007年9月29日、宜野湾市内で開催された「教科書検定意見撤回を求める県民大会」で、数名の独立派のグループが「琉球独立」の旗を掲げて会場を歩いている様子をとらえた写真です。

中国のテレビはこの写真を捏造し、**「数十万の沖縄県民が、独立を求めて大規模集会を開いた」と報道**しています。**「沖縄を独立させ、中国に取り戻そう」という国内の世論をおこす**ためです。



※中国のテレビニュースより

◆「琉球自治区委員会」は沖縄領有の準備

2011年には人民解放軍関係者の支援を受け、香港で**「中華民族琉球特別自治区委員会」という組織が立ちあがり**ました。沖縄を勝手に中国の自治区（領土）にする準備が始まっているのです。

独自のメディアも立ち上げ、今も**「琉球は中国の領土」「琉球を取り戻し、中国という祖国に復帰させよう」というメッセージを世界に発信し**続けています。



※「中華民族琉球特別自治区委員会」ホームページより

中国が仕掛ける 「琉球独立」の民

中国による琉球独立工作が進んでいます。日本国民は知りませんが、この数年中国は国内のテレビや新聞を使い「沖縄県民のほとんどは日本からの独立を望んでいる」というとんでもないニュースを報道し続け「中国人民は沖縄の独立を支援すべき」と民衆に呼びかけています。

◆ついに「沖縄領有」を主張し始めた中国

2013年5月8日、人民日報は「沖縄の領有権は日本にはない」という論文を掲載し、沖縄の領有を示唆し始めました。3日後の11日には環球時報が「中国は沖縄の独立運動を支援すべき」という社説を掲載。

中国は明らかに「尖閣諸島」のみならず、「沖縄全体」の領有を主張するようになりました。

◆中国に利用される「琉球独立運動」

この中国の動きと連動するかのようになり、2013年5月15日には松島泰勝・龍谷大学教授らが発起人となり、「琉球民族独立総合研究学会」が設立されました。

独立を主張する人々は少数派であり、市民権を得ているとは言えません。ところが、中国国内では「県民の多くが独立を望んでいる」かのように、この会見映像が報道さ



れました。

また、今年4月30日には「琉球独立」を掲げる候補が、沖縄県知事選に立候補。「1年以内の琉球国独立」と「米軍退却後に韓国・中国・台湾などの軍隊を置く」ことを公約として掲げ、記者会見を開きました。このニュースについても、中国のメディアは一斉に報道し、ネットでは「米軍に虐げられている沖縄の同胞を救え!」「中国は沖縄の独立を支援し、中国に復帰させるべきだ」という書き込みがあふれています。

知らない間にこんなに進んでいる！

「琉球独立」への流れ

3月15日

日本での動き



鳩山元総理

東アジア共同体研究所を設立



5月15日

琉球民族独立総合研究学会 設立

2014.1月

沖縄は独立に傾かざるを得なくなる (Facebook での発言)



4月30日

「独立」を掲げた候補が県知事選に立候補

- ・ 1年以内の琉球国独立
- ・ 米軍退却後に、韓国・中国・台湾などの軍隊を置く



5月

鳩山元総理 習近平氏と会見



これが真実だ！

99%以上の県民は、独立など考えていません！
独立を望む県民は1%未満

(2012年 沖縄統計センター調査)

2010

12月

中華民族琉球特別自治区援助準備委員会 香港に設立

2013

5月8日

人民日報が沖縄領有を示唆 「沖縄の帰属は未確定」

5月11日

環球時報 「中国政府は沖縄独立運動を支援すべき」

- ・ 「琉球共和国」の復活をめざす組織を支援
- ・ 日本の出方によっては、中国は沖縄での独立運動勢力を育成する

中国国内では新聞・TV が一斉に報道！

日本国内ではほとんど報道されなかったが

2014

エッ！ 人民解放軍を駐留!?



「琉球共和国」復活をめざし独立組織が結成された！

中国国内メディアは連日、大々的に報道！

「琉球奪還」を掲げるサイトが、中国国内に乱立 「人民解放軍は琉球人民を救え！」

- ・ 琉球は中国領
- ・ 琉球独立させた後、中国に取り戻す

中華民族琉球特別自治区 委員会

7月現在



規模拡大しさらに発展

琉球特別自治区委員会が入居する広東省のビル



20XX年 このままだと、琉球独立へ!?

編集後記

クリミア問題は他人事ではない

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻とクリミア占領は、ヨーロッパやアメリカだけでなく、世界に大きな衝撃を与えています。

クリミア問題は決して、「対岸の火事」ではありません。アジアでは今、ロシアよりももっと危険で、傍若無人（ほうじゃくぶじん）な帝国主義国家が台頭し、近隣諸国に対して侵略の手を伸ばしています。それが共産党による一党独裁国家・中国です。

本気で沖縄侵略を考えている中国

現在、南シナ海でベトナムやフィリピンと一触即発の領土紛争を繰り返している中国ですが、彼らが本当に狙っているのは、実は「尖閣諸島」であり、「沖縄」です。

「まさか、中国がそんなことするわけがない——」と思われる人も多いと思います。しかし、中国は本気で、「ロシアがクリミアで行ったように、沖縄に武力侵攻し、占領したい」「琉球自治区」として自分たちの領土に編入したい」と、考えています。

その証拠の一つが、このフリーペーパーで指摘した「琉球独立」運動です。中国は工作によって、沖縄内部から独立を求める声が上がっているという既成事実を作り上げることで、「琉球解放」（軍事侵攻）のために口実を作ろうとしているのです。

チベットでは侵略者を手引きした知事が

隣国からの侵略の危機が迫っている今、沖縄県民と本土の一致団結した行動が必要です。

かつて中国に侵略されたとき、チベットは義勇兵を募って戦いました。しかし、中国が侵攻してきた地区（チベットの県）の知事が、中国と内通してチベットの弾薬庫を爆破させて投降を主張。その結果、チベットは人民解放軍にやすやすと占領されてしまったのです。

そうした歴史的な教訓も含めて、この冊子が、中国から沖縄を守り、アジアを守るためのお役に立つことを、心から願ってやみません。

幸福実現党
総務会長兼出版局長
矢内筆勝



BOOK info いま 日本人として読んでおきたい書籍



尖閣は日本の領土 中国が絶対に反論できない26の証拠

尖閣はすでに開戦前夜！日本人はこの現実に向けるべきカラーで見る！許しがたい中国のねつ造の証拠
よく分かる！沖縄と本土のルーツの話
戦後沖縄史観の虚構を正す—沖縄と本土の絆
尖閣上陸ロッカー・トクマの「世直し幸福装！」
「習近平に告ぐ！」日本人を代表して、尖閣防衛宣言

「尖閣・沖縄が日本の領土である動かぬ証拠」
沖縄・九州防衛プロジェクト編（幸福の科学出版）
本体 ¥ 619 円 + 税



日本を守るため 立ち上がろう —沖縄県民への呼びかけ—

沖縄が「琉球自治区」になる日？
日本は沖縄を見捨てていなかった！
沖縄のために戦い死んでいった英霊たち
沖縄では「弾を撃たない戦争」が始まっている！！
基地があるから「危険」なのではない、
基地があるから「守られている」！
尖閣問題を一刀両断！【中華帝国】が動き始めた！

「迫りくる！ 中国の侵略から沖縄を守れ」
幸福実現党出版局長編（幸福の科学出版）
本体 619 円 + 税

「ゆんたくシーサー」愛しているから守りたい」VOL・5 2014年8月発行
問い合わせ / 幸福実現党本部 〒107・0052 東京都港区赤坂2・10・8
発行 / 幸福実現党 編集人 / 矢内筆勝
電話 03・6441・0754

